第 11 回農業農村情報研究部会勉強会議事要旨(案)

日時：　平成 18 年 6 月 16 日（金）15:00-17:00
場所：　東大農学部 7 号館 A 棟 7 階 716 号室
出席者（順不同，敬称略）：大政謙次（東大），鎌田知也（農水省），大西亮一（日本水土総合研究所），小川茂男（農工研），吉橋勇一（農業農村整備情報総合センター），山中健一（日本気象協会），加納太郎（NTT ドコモ），福嶋隆雄（NTT ドコモ），伊藤良栄（三重大学），根本　茂（水土里ネット千葉），三宅　功（水土里ネット千葉），小野寺晃宏（ARIC），能島雅良（富士通），溝口　勝（東大），沖　一雄（東大），清水　庸（東大）

１．報告事項

・大会（宇都宮大学）時の企画セッション「農業イノベーションと農業農村情報研究」にて，５課題を発表予定。8 月 10 日（木）10:45-12:30　第 5 会場-3101

２．勉強会

2.1　水管理制御システムについて　（富士通（株）　能島　雅良　氏）

・本システムは，水源から受益地にわたり広範囲に散在する基幹水利施設のうち，主要な施設を集中管理し必要な制御を行うシステムである。
・情報処理技術の進歩にしたがい，データの記録・処理・蓄積・表示，データ伝達のネットワークシステムや機器の操作方法について，常に改良している。
・日常業務の効率化や災害時の情報把握のため，第 3 世代携帯通信網（FOMA）を利用した管理システムの構築が進められている。
・データ通信のインフラが整っていないエリア（国内の農村部や発展途上国など）で利用可能なシステム，過去のシステムで取得したデータを現行のシステムに移行するサービスについての要望が出された。

2.2　土地・施設・担い手管理システムについて
（水土里ネット千葉　根本　茂　氏，三宅　功氏）

・図面データと台帳データを一元管理したシステムである。土地改良事業などの工事において，作成した図面や登記のデータなどを財産管理のためにデジタル化・GIS データ化している。
・耕作に関するシステムとしては，「担い手の土地の借り受け状況」や「作目に関する情報管理」も可能である。

３．次回会合

勉強会を平成 18 年 9 月に開催を予定。